

— 水を「育み、守る」—

水源かん養林とは

水源かん養林とは、良質な水源を将来に渡って確保していくために必要な様々な機能を持つ森林です。

■ 雨水を貯える

樹木の葉や枝が形成した腐植土は、優れた保水性を持ち、雨水が一気に流出するのを防ぎ、大雨による中小洪水を緩和します。これらの森林の機能と、ダム機能が合わさることにより確実な治水・利水機能が確保されます。

■ 土砂の流出を防止する

森林は、地中に根を張ることで土壌を安定させ、土砂崩れなどの災害を防止することができます。

■ 水質を浄化する

森林の土壌が持つ、ろ過機能によって、雨水は時間をかけて浸透し、自然浄化されます。



水源かん養林の働きのイメージ

水源かん養林を守るには

水源かん養林の保育・整備には、とても長い時間がかけてられています。

一般的な施業時期は以下のとおりです。写真は企業庁の青根水源かん養林における施業の様子です。

